施策評価シート

施策等名称	スポーツの果たす役割の活用	体系番号	0201020505
		主管課	スポーツ健康課

1 施策基本情報

現状と課題	<p>地域住民と一緒に運動する機会を持つことは、地域のつながりを生み、地域社会を活性化するうえでも有効な方法と考えられます。また、近年県内を拠点に置くプロスポーツチームが誕生し、スポーツ振興の一環として所属選手によるスポーツ交流の機会など、地域に身近なプロスポーツの存在が注目されています。</p> <p>一方で、旅行価値を深めるスポーツツーリズムの可能性が認識され、マラソン大会等に市内の資源を活用し、市外からの集客を増やしています。白樺湖等で合宿が行われている現状もあり、これらの資源を有効活用することを期待されています。</p>
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	<p>スポーツの有する多面的な価値が市民の間で共有され、健康づくりや市内外の交流促進など、スポーツが市のまちづくりを牽引している</p>

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
				2	2
①	プロスポーツ誘致	プロスポーツ大会開催数	1	2	2
②	スポーツイベント・ニュースポーツ大会数	スポーツイベント・ニュースポーツ大会数	2	4	4
③					

施策の柱1	名称	スポーツによる地域の一体感や活性化		主管課	スポーツ健康課			
	詳細	地域のプロスポーツ競技団体の支援、積極的な活用により、児童青少年の健全育成や地域のスポーツ振興を図る。 また、スポーツイベント等において、地元企業や学校・地域住民との連携・協働の強化に努め、スポーツを地域振興に活用する。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	プロ等が参加する教室の開催	開催数	1	1	1	スポーツ団体等支援事業	実施
					1	2	大会開催関連事業	実施
	2	スポーツイベント開催	イベント数	1	2	3		
					2	4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							
施策の体系	名称			主管課				
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1				1			
						2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							
施策の柱3	名称			主管課				
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1				1			
						2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策等名称	スポーツの果たす役割の活用	体系番号	0201020505
		主管課	スポーツ健康課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策	プロスポーツ誘致	1	0	0	-	-	0	0
		2	0	0	-	-	0	0
変動要因等	2018年度	信濃グランセローズの開催方針変更に伴い、茅野市での開催が困難となったことによる開催減。						
	2019年度	前年と同様に誘致できなかった。						
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され誘致できなかった。						
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され誘致できなかった。						
	2022年度	当市の施設を希望するプロスポーツからの打診はなく、誘致活動も行っていない。						
	2023年度	当市の施設を希望するプロスポーツからの打診はなく、誘致活動も行っていない。						
施策	スポーツイベント・ニュースポーツ大会数	2	3	3	-	-	2	2
		4	75.00	75.00	-	-	50.00	50.00
変動要因等	2018年度	尖石縄文の里マラソン大会・ふらば～る大会に加え、GazooRacing Rallychallenge八ヶ岳茅野が開催された。						
	2019年度	尖石縄文の里マラソン大会・ふらば～る大会に加え、GazooRacing Rallychallenge八ヶ岳茅野が開催された。						
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され中止となった。						
	2021年度	新型コロナウイルス感染防止のため、ふらば～る大会、GazooRacing Rallychallenge八ヶ岳茅野は中止となった。						
	2022年度	ふらば～る大会、GazooRacing Rallychallenge八ヶ岳茅野は規模を縮小したが開催した。						
	2023年度	ふらば～る大会、GazooRacing Rallychallenge八ヶ岳茅野が開催され、両イベントともコロナ禍以前の規模での開催となった。						
柱1	プロ等が参加する教室の開催	1	1	1	-	-	1	0
		1	100.00	100.00	-	-	100.00	0
変動要因等	2018年度	東海大学駅伝部による陸上教室。						
	2019年度	東海大学駅伝部による陸上教室。						
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され中止となった。						
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され中止となった。						
	2022年度	スケートセンター営業開始日に小平奈緒交流イベントを開催した。						
	2023年度	市の事業としては実施していないが、各種団体が元プロ選手を招聘した教室を開催し、後援をした。						
柱1	スポーツイベント開催	1	1	1	-	-	1	2
		2	50.00	50.00	-	-	50.00	100.00
変動要因等	2018年度	新たなイベントの開催はなく、市民スポーツ祭の開催のみ。						
	2019年度	新たなイベントの開催はなく、市民スポーツ祭の開催のみ。						
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され中止となった。						
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され中止となった。						
	2022年度	市民スポーツ祭は規模を縮小し開催した。						
	2023年度	市民スポーツ祭はコロナ禍以前の規模で開催した。また、ふらば～る大会を開催した。						

施策等名称	スポーツの果たす役割の活用	体系番号	0201020505
		主管課	スポーツ健康課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目	2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)		2018年~2023年(総括)	
	投資額	事業費(円)	11,041,274	12,506,000	1.13	13,258,000	1.06	8,074,117	0.61	10,514,369	1.30	10,590,674
うち一財(円)		9,121,274	9,426,000	1.03	9,392,000	1.00	7,901,617	0.84	10,117,369	1.28	10,062,674	0.99
(2018年~2023年(総括)については2023年の実績を記載)	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)						新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され教室やイベントの開催ができなかった。		スケートセンター営業開始日に小平奈緒交流イベントを開催したため。			
進捗評価	おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている	
総合評価	主な取組内容や成果	白樺湖で合宿している東海大学陸上部員によるランニング教室開催支援や、八ヶ岳縄文の里マラソン大会への有名選手の招聘。箱根駅伝に参加した選手を間近に見ることや直接指導を受けるなどの交流ができた。	東海大学陸上部員によるランニング教室開催支援や、八ヶ岳縄文の里マラソン大会への有名選手の招聘。箱根駅伝に参加した選手を間近に見ることや直接指導を受けるなどの交流ができた。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され教室やイベントの開催ができなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され教室やイベントの開催ができなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動が制限され教室やイベントの開催ができなかった。	(R4・総括評価共通)小平奈緒交流イベントをスケートセンター営業開始日に開催し、多くの子ども達が参加し、スケート文化を伝承する機会となった。	小平奈緒交流イベント、東海大学陸上部員によるランニング教室、八ヶ岳縄文の里マラソン大会、茅野市総合体育祭、ニュースポーツ大会等を開催し、スポーツによる交流促進を図った。				
	課題	地元出身の選手等を活用することや、マラソン大会のゲストランナーによる指導などの有効活用。	誘致する団体、有名選手の都合により、施策の実施が困難になる。	誘致する団体、有名選手の都合により、施策の実施が困難になる。	誘致する団体、有名選手の都合により、施策の実施が困難になる。	(R4・総括評価共通)誘致する団体、有名選手の都合により、施策の実施が困難になる。	誘致する団体、有名選手の都合により、施策の実施が困難になる。					
改革・改善	改革・改善内容	マラソン大会でのゲストによるランニング教室や、ジュニアスポーツ教室での地元出身の元プロ選手の指導。	スポーツ関係の縄文ふるさと大使によるイベントを企画。	スポーツ関係の縄文ふるさと大使によるイベントを企画。	スポーツ関係の縄文ふるさと大使や著名人を招待してのイベントを企画。	イベント等の企画、国スポ・全障スポ開催等により、市民のスポーツに対する関心を高め、地域スポーツ文化の裾野を広げていく。	イベント等の企画、国スポ・全障スポ開催等により、市民のスポーツに対する関心を高め、地域スポーツ文化の裾野を広げていく。					
	施策の柱等の重点化	理由	重点化する施策の柱	1	2	1	2	1	2	1	2	
		大会開催のための事業の中でも、スポーツの普及や振興のために関心が高い内容であること。	有名スポーツ選手を活用することにより、市民のスポーツに対する関心を高め、運動する機会のきっかけとなる。	有名スポーツ選手を活用することにより、市民のスポーツに対する関心を高め、運動する機会のきっかけとなる。	有名スポーツ選手を活用することにより、市民のスポーツに対する関心を高め、運動する機会のきっかけとなる。	有名スポーツ選手を招待するイベント等を企画することにより、市民のスポーツに対する関心を高め、運動する機会のきっかけとなる。	有名スポーツ選手を招待するイベント等を企画することにより、市民のスポーツに対する関心を高め、運動する機会のきっかけとなる。					
作成担当者	上条 直之	牛山 明広	内山 誠治	内山 誠治	松田 剛史	松田 剛史						
最終評価責任者	平出 信次	北沢 政英	北沢 政英	北沢 政英	上田 佳秋	上田 佳秋						
最終評価年月日	2019年7月23日	2020年5月28日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月19日	2024年7月9日						